

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-532866 (P2004-532866A)  
 【公表日】平成 16 年 10 月 28 日 (2004.10.28)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-042  
 【出願番号】特願 2002-592920 (P2002-592920)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 K 31/4188 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/221 (2006.01)**

**A 6 1 P 3/10 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K 31/4188

A 6 1 K 31/221

A 6 1 P 3/10

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 5 月 23 日 (2005.5.23)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ビオチン、およびアセチル L - カルニチンまたはその医薬上許容される塩を組み合わせ  
 て含有する、2 型インスリン抵抗性糖尿病の治療薬。

【請求項 2】

塩が、塩化物、臭化物、オロチン酸塩、酸アスパラギン酸塩、酸クエン酸塩、クエン酸  
 マグネシウム塩、酸リン酸塩、フマル酸塩および酸フマル酸塩、フマル酸マグネシウム塩  
 、乳酸塩、マレイン酸塩および酸マレイン酸塩、ムケート、酸シュウ酸塩、パモ酸塩、酸  
 パモ酸塩、酸硫酸塩、グルコースリン酸塩、酒石酸塩、酸酒石酸塩、酒石酸マグネシウム  
 塩、2 - アミンエタンスルホン酸塩、マグネシウム 2 - アミンエタンスルホン酸塩、酒石  
 酸コリン塩およびトリクロロ酢酸塩からなる群から選択される、請求項 1 に記載の治療薬  
。

【請求項 3】

アセチル L - カルニチンの投与量が 1 日当たり 0 . 1 から 2 g であり、ビオチンの投与  
 量が 1 日当たり 1 から 8 m g であるよう調製された、請求項 1 に記載の治療薬。

【請求項 4】

アセチル L - カルニチンの投与量が 1 日当たり 0 . 2 から 1 g であり、ビオチンの投与  
 量が 1 日当たり 3 から 5 m g であるよう調製された、請求項 3 に記載の治療薬。

【請求項 5】

アセチル L - カルニチンの投与量が 1 日当たり 0 . 3 g であり、ビオチンの投与量が 1  
 日当たり 4 m g であるよう調製された、請求項 4 に記載の治療薬。